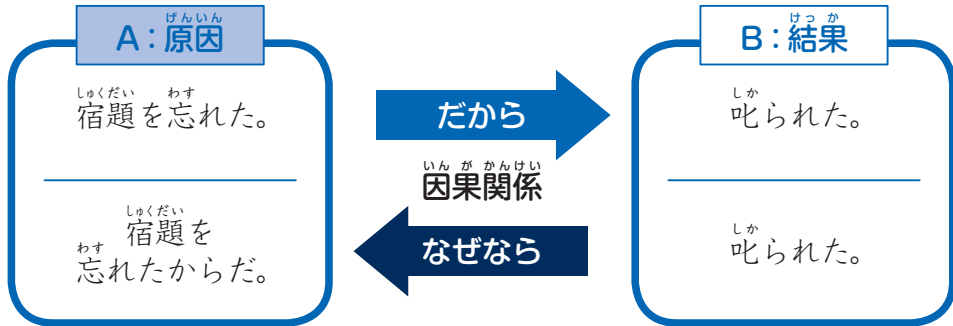


パートⅣ

ちから

「たどる力」

「因果関係」を整理する力



☆上の図を指差しながら、次の①・②を声に出して言ってみましょう。

- ①「宿題を忘れた。だから、叱られた」…………… **A** だから **B**
 ②「叱られた。なぜなら、宿題を忘れたからだ」…… **B** なぜなら **A** から

☆「因果関係」とは、「原因と結果の関係」のことです。

「因果関係が成立する」とは、「なるほどと思える」ということです。

10人中8人が「なるほど」と思えるかどうか（＝客観性が高いかどうか）。これが、正しい因果関係のひとつの基準になります。

「たどる力」とは、原因と結果を正しくつなげていくための力です。

☆「因果関係」を表す接続語は、たくさんあります。以下はその例です。それぞれ、A「宿題を忘れた」、B「叱られた」を入れるなどして、読んでみましょう。

原因 → 結果	A だから B	A そのため B
A によって B	A それで B	A その結果 B
A すると B	A ならば B	A じゃあ B

結果 → 原因	B なぜなら A から	B だって A (から)
B A ので	B A から	B A ため
B というのも A (のだ)	B A のだ	B A わけだ